最優秀賞

2010年6月21日　EU 文化・歴史　第1号

EU 歴史 文化

清川中学校
2-A
島羽広夢

現在27カ国

1967～1994 EC ↓ 1994～現在 EU

EU（ヨーロッパ連合）は現在二十七カ国が加入されている。一九四八年にベルギー、オランダ、ルクセンブルクの三カ国が最初にベネルクス三国をつくり、一九五二年に、ドイツ、フランス、イタリアが加盟し、一九六七年に、この六ヵ国で、ECヘヨーロッパ共同体をつくった。次に一九七三年に、イギリス、デンマーク、アイルランドが加盟し、EC が拡大した。一九八一年には、ギリシャ、一九八六年には、ポルトガル、スペインが加盟し、一九九四年に、十二カ国でEUと改称した。その後、一九九五年、オーストリア、スウェーデン、フィンランドと三国が加盟し、二〇〇四年に、キプロス南部、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、ポーランド、スロバキア、スロベニア、マルタ、ルーマニア、ブルガリアの二国が加盟した。そして、現在の二十七国がEUとなった。

統合発展

統合と発展をめざすEUには、EU内の経済問題など、たくさん解決すべき問題がある。また、EU全体の共通政策と、各国の利益が対立することもある。この中で、二〇〇八年十月現在で、EUの加入候補国は三カ国ある。その三国とは、クロアチア、トルコ、マケドニアだ。クロアチアは、二〇〇五年十月に加盟交渉開始し、トルコも同年、同月、マケドニアは同年十二月に、この三カ国はまだ加盟されていない。ほかに、EUが大きくなり、EUが動き、統合と発展をし、なかなか平和な、連合をつくっていってもらいたいと思う。また、日本とも仲よく、関係なども、てほしいと思う。

↑現在のEU加盟国

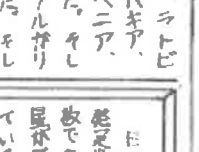
独特な文化。

EUの経済統合ということで、様々な文化がある。まず物の移動とすれば、EU内では、関税なしで、輸出入できることや、製品の安全基準などは加盟国で承認し合っていることがある。人の移動は、ほとんどの国境はフリーパスであり、労働者は国境をこえて働けるまた、大学卒業者や、教員、医師、看護士などの資格統一している。次に、金（現在）の移動は、国境をこえて銀行に預金したり、貸金を借りることができたり、会社関係のお金の移動ができる。サービス関係では、銀行や、保険会社は他国の客にもサービスを提供できることや、国境をこえてテレビ番組を放送していることなどがある。この様に、EUの人々は普通では、ありえない事ができてしまうEUは、ぼくは、スゴイと思った。また、EUは、一つの国に厳に、国境を気にしないとてもスゴイ文化だと思った。しかし、これを半対に、この文化はいい文化でもあるが、わるい文化でもあると思った。理由は、その国者による問題があると思ったからだ。この様に、様々な文化と、いい面、わるい面をかけてこれからのEUのいい面を増やしていってもらいたいと思う。

EU加盟当時の加盟国数である十二個の星がデザインされている。この十二個の星は、加盟国が増えても、星の数は変わらない。この案は、一九五四年欧州議会で「欧州統合」のシンボルとして使用されたが、一九八六年に当時のECの旗となった。そして、現在、二十七国が加入している。この旗は、ECの旗は、すでに使用されている。また、この旗は、歴史と意味をあらわす。

EUの欧州会議場（フランス）

旗



EURO

EUでは、二十七カ国のうち、十六カ国が同じ紙幣を使っている。それは、「ユーロ」だ。この紙幣は、一九九九年から銀行取り引きで使われていた。そして、二〇〇二年からは、各国の通貨にかわって、ふつうに使われるようになった。このユーロ紙幣は、なぜ作ってできているのかと思った。今度いろいろ、この国については、調べたいと思う。

↑ユーロ紙幣

編集後記

今回、EUを調べます一番に、びっくりしたのは、日本と、文化のちがいだ。特に国境をあまり気にしない事だ。あと、とても良いと思った。この日、ユーロ紙幣だ。これは、EU内なら、同じ紙幣を使えるからである。この様に、今回調べ、とてもEUは面白いなと思う。今度、いつか、EU内に行ってみたい。